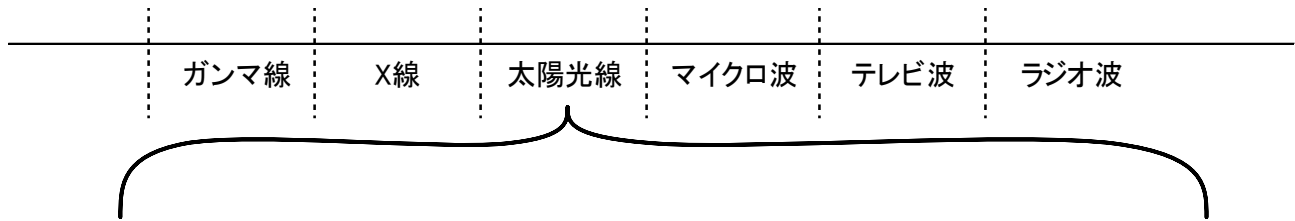


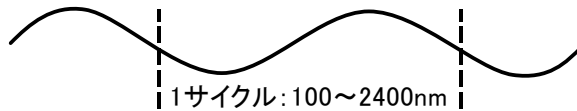
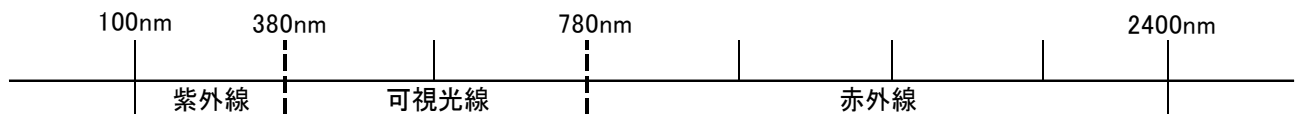
# 太陽光線とガラスの関係：

(太陽光線)

太陽光線はラジオ波等と同じ電磁波の一種です。



(太陽光線の詳細) ※1nm=1/1,000,000mm



## 各光線の説明

紫外線：100 - 380nm

UV-C: 100-290nm (大気層に吸収され地球上に到達していないと言われているもの)

UV-B: 290-320nm (日焼けや皮膚癌に関連するもの)

UV-A: 320-380nm (UV-B ほどではないが、長時間浴びると健康障害を引き起こす)

可視光線：人間が目で感じられる領域。380 - 780nm の波長領域で、内 550nm 付近が人間が一番見やすい領域で、この部分が緑色に見える。

赤外線：人間が熱として感じられる領域 780-2400nm。太陽光線が発する赤外線を近赤外線といい、一度物体に吸収された熱が再放出した熱などを遠赤外線と呼んでいる。

太陽光線はエネルギーを帯びており、紫外線、可視光線、近赤外線の全てを併せて 100%とした場合、エネルギー量の観点から、紫外線が 3%、可視光線が 44%、近赤外線が 53%とされています。

(注意)

波長領域については参照する文献によって各波長領域の長さが微妙に違う場合があります。